

—低温科学研究所 共同研究集会—

「南極海洋—海氷—氷床システムの相互作用と変動」

日時：2018年6月28日（木）13:30～18:45

2018年6月29日（金）09:00～12:00

場所：北海道大学低温科学研究所 2階講義室（215）

【プログラム】

6月28日（木）13:30～18:45

【JARE58 の報告】

13:30-13:55 (25) 國分瓦彦（極地研） ウェッデルアザラシによる海洋観測

【JARE59 の報告】

13:55-14:20 (25) 平野大輔（北大低温研） 海洋観測報告

14:20-14:45 (25) 伊藤優人（北大低温研） 海洋海氷観測報告

14:45-15:10 (25) 山根志織（北大環境科学院） ラングホブデ氷河における氷河下の海洋環境

15:10-15:30 (20) 木内政彰（北大水産） JARE59\_LH 湾の DIC/TA 分析結果速報

15:30-15:55 (25) 野口智英（MWJ） しらせによる海洋観測

15:55-16:10 (15) 休憩

【リュッツォホルム湾の海洋学】

16:10-16:35 (25) 草原和弥（JAMSTEC） リュッツォホルム湾の海氷-海洋-棚氷モデリング

【JARE60 の計画】

16:35-17:00 (25) 牛尾収輝（極地研） 全体計画と多年氷観測

17:00-17:20 (20) 柏瀬陽彦（極地研） 海氷現場観測

17:20-17:45 (25) 中野善之（JAMSTEC） 海洋化学観測

【リュッツォホルム湾の海氷学】

17:45-18:05 (20) 野村大樹（北大水産） JARE58/59 のコア処理状況

【JARE59 の報告】

18:05-18:30 (25) 杉山慎（北大低温研） ラングホブデ氷河熱水掘削と棚氷下観測

【総合討論 I】

18:30-18:45 (15)

- ・アザラシデータ・海氷ドリフトデータの利用について
- ・JARE62 の氷河観測について

懇親会 19:15～

6月29日(火) 09:00~12:00

【ウィルクスランド沖の海洋学】

9:00- 9:20(20) 嶋田啓資(東京海洋大) ウィルクスランド沖の海洋変化と海鷹丸観測(仮)

9:20- 9:35(15) 山崎開平(北大環境科学院) Totten 入り口のあたりの海洋構造と水塊交換(仮)

【クイーンモードランドの氷河・氷床】

9:35- 9:55(20) 山之口勤(RESTEC) Grounding line detection by ALOS-2/PALSAR-2 InSAR

9:55-10:15(20) 中村和樹(日本大) 白瀬氷河とLH湾定着氷(仮)

10:15-10:35(20) 青山雄一(極地研) 白瀬氷河におけるGPS観測(仮)

【JARE61の準備】

10:35-10:50(15) 田村岳史(極地研) 61次の全体計画

10:50-11:05(15) 青木茂(北大低温研) 海洋観測構想

11:05-11:25(20) 板木拓也(産総研) JARE61における海底堆積物調査を基盤とした研究戦略

11:25-11:45(20) 眞壁竜介(極地研) 生物と海水

【総合討論II】

11:45-12:00(15)

- ・南極観測シンポジウム2018に向けて
- ・データ公開
- ・その他